

討論

7年度予算案 このような理由で

賛成しました

反対しました

3月27日の本会議で、7年度予算案の採決に先立ち、議員が賛成・反対の立場から討論を行いました。

ここでは、各議員の主な討論内容を掲載しています。

討論の録画配信はこちら⇒



賛成

八王子市議会公明党
渡口 禎



選ばれる自治体として行財政運営を

本予算は市税収入増や市債残高減など、財政の健全性を堅持した予算編成であると評価する。また、運転手不足等によるバス路線の廃止等で移動手段が減少する中、自動運転バスの実証実験への取り組みに期待しており、今後の地域公共交通の充実につなげてもらいたい。

要望してきた市内各駅におけるホームドアの設置が進むことは、大きな前進である。今後も、選ばれる自治体として効果的な行財政運営に取り組むことを求め、本予算に賛成する。

賛成

自民党新政会
小林 秀司



将来を見据え企業立地の実現に期待

7年度予算は過去最大規模であるが、予見される歳入と歳出の開きの抑制を念頭に置いた編成であることを評価する。

編成方針では、中核市権限を活用し、独自の事業展開を図るとしているが、将来に向け、自主財源を増やす観点からも、企業立地の促進は不可欠と考える。7年度は新たに盛り込んだ支援で企業立地の促進を図り、結果に結び付けることを期待する。事業の選択と集中で、未来への賢い投資を進めることを求め、本予算に賛成する。

反対

日本共産党
八王子市議会議員団
望月 翔平



国保税の値上げは認められない

国保税において、市から都への納付金が減額されたにもかかわらず、その減額分を市民へ還元せず、一般会計からの法定外繰り入れも行わないことは、加入者のさらなる負担増となる。社会保障は支払う能力に応じた応能負担が原則であり、国保税の負担を増やし続ける市の姿勢は、決して認められない。

上がらない賃金や異常な物価高騰などで市民から悲鳴が聞こえる中、厳しい市民生活に向き合い、寄り添う予算編成とはいえず、本予算に反対する。

賛成

立憲民主・市民の会
安藤 修三



堅実な予算で質の高いサービスを

7年度は扶助費をはじめ、義務的経費が増加傾向の中、投資的経費を圧縮し、市債残高縮減や基金増加など、堅実な収支の予算としたことを評価する。

自然災害が多発し、急激な物価上昇が続く中、市民の暮らしは痛み、将来への不安が高まっている。市は最後の砦として、今後も持続可能な財政基盤の上で、質の高い市民サービスを提供していくことを期待するとともに、必要な投資についても積極的な検討を進めることなどを要望し、本予算に賛成する。



教えて！市議会??
～討論編～



採決前にやっている討論で、何??



議員が意見を表明し、その理由を述べることができるんだよ

何のためにやるの??



意見の違う議員を自分の意見に賛同させるためだよ

討論は見られるの??



本会議を傍聴すればOK！インターネットでも見られるよ



会議の様子ははこちら⇒

諸派

反対

金子 亜希子



予算の編成方針の軸から、社会福祉政策が抜け落ちていようを感じる。社会的に弱い立場の方や、そのケアを担う方のため大切な税金を使うことを強く求め、本予算に反対する。

賛成

及川 賢一



厳しい財政状況乗り越えるには、市民の力を借りたまちづくりが欠かせないと考える。事業を見直す中でも、市民協働に関する補助金の適切な予算化を求め、本予算に賛成する。

公共サービスのあり方に疑問

事業見直しの中でも適切な予算化を

諸派II会派に所属しない議員